

令和 9 年度 新潟支社管内気象予測業務

特 記 仕 様 書

令和 8 年 8 月

東日本高速道路株式会社 新潟支社

目 次

第1章 総 則

1－1	業務概要		1
1－2	業務範囲		1
1－3	適用する共通仕様書		1
1－4	用語の定義		1
1－5	管理技術者		1
1－6	担当技術者		1
1－7	完了検査		1
1－8	一部完了検査		2
1－9	部分引渡しの指定部分		2
1－10	成果品		2
1－11	履行期間		3
1－12	テクリスへの登録		3

第2章 業務細部に関する事項

2－1	業務内容		3
2－2	気象予測		3
2－3	事前予測情報提供		7
2－4	土壌雨量指数予測		7
2－5	気象情報提供		8
2－6	NEXCO東日本ホームページ気象情報提供		10
2－7	防災情報メール配信		11
2－8	30分雨量データ提供		11
2－9	その他事項		12
2－10	打合せ		12
2－11	報告書作成		12

添付資料

参考資料 1、2

第1章 総 則

1-1 業務概要

本業務は、道路気象情報を利活用して、東日本高速道路株式会社新潟支社（以下、当社という）が行う異常気象対策及び雪氷対策作業をより円滑かつ効果的に実施し、適切な道路の維持管理に資することを目的とした気象予測に関する業務として、気象情報を提供する業務である。

1-2 業務範囲

- | | | |
|-----------|--|------------------|
| (1) 業 務 名 | 令和9年度 新潟支社管内気象予測業務 | |
| (2) 道路名 | 関越自動車道
北陸自動車道
日本海東北自動車道
磐越自動車道
上信越自動車道 | |
| (3) 業務区間 | 関越自動車道 | 沼田 IC～長岡 JCT |
| | 北陸自動車道 | 黒部 IC～新潟中央 JCT |
| | 日本海東北自動車道 | 新潟中央 JCT～荒川胎内 IC |
| | 磐越自動車道 | 西会津 IC～新潟中央 IC |
| | 上信越自動車道 | 豊田飯山 IC～上越 JCT |

1-3 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和8年7月版とする。

1-4 用語の定義

共通仕様書1-2「用語の定義」に以下を追加する。

- (30) 「気象予報士」とは、気象業務法に定める資格をいう。

1-5 管理技術者

管理技術者の資格要件

契約書第10条第1項および共通仕様書1-7-1「管理技術者の資格要件」の規定に基づき設置する管理技術者は、受注者に所属し次に示す要件に該当する者で日本語に堪能（日本語通訳が確保できれば可）でなければならない。

- (1) 気象予報士の資格を有し、気象予報士登録から5年以上の気象予測の業務経験を有する者

1-6 担当技術者

共通仕様書1-10「担当技術者」によらず、下記のとおりとする。

- (1) 担当技術者は受注者に所属する者とし、気象予報士の資格を有し、気象予報士登録から3年以上経過していること。

1-7 完了検査

調査等完了届提出の要件

調査等完了届提出の要件については、共通仕様書1-33-2「調査等完了届提出の要件」によらず受注者は、調査等完了届を発注者に提出する際には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 業務内容確認検査に合格していること。
(2) 報告書（報告書紙および報告書電子データ）の作成が完了していること。
(3) 契約変更を行う必要が生じた調査等においては、最終変更契約を発注者と締結していること。
ただし、契約書第26条に基づき請負代金額の変更、増加費用、損害額について協議中のため、この変更契約を締結できない場合で契約期間に達した場合は、その部分を除く最終変更契約書が準備されていること。

1-8 一部完了検査

調査等一部完了届提出の要件

調査等一部完了届提出の要件については、共通仕様書 1-34-2「調査等一部完了届提出の要件」によらず、受注者は調査等一部完了届を発注者に提出する際には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 業務内容確認検査に合格していること。
- (2) 指定部分の成果品の作成が完了していること。
- (3) 契約変更を行う必要が生じた調査等においては、部分引渡しに伴う変更契約を発注者と締結していること。ただし、契約書第 26 条に基づき請負代金額の変更、増加費用、損害額について協議中のため、この変更契約を締結できない場合で引き渡し時期に達した場合は、その部分を除く変更契約書が準備されていること。

1-9 部分引渡しの指定部分

契約書第 38 条の規定に基づく指定部分及びその引渡し時期は次表のとおりとし、表に示す引渡し時期までに受渡しを完了するものとする。

指定部分		引渡し時期	摘 要
気象予測（暖候期）	6 ヶ月	令和 10 年 3 月 31 日	引渡しの対象 令和 9 年 5 月 1 日～ 令和 10 年 2 月 29 日
気象予測（雪氷期）	4 ヶ月		
事前予測情報提供	1 回		
土壌雨量指数予測	10 ヶ月		
気象情報提供	10 ヶ月		
NEXCO 東日本ホームページ気象情報提供	4 ヶ月		
防災情報メール配信	10 ヶ月		
30 分雨量データ提供	10 ヶ月		
報告書作成 A	1 式		
気象予測（暖候期）	7 ヶ月	令和 11 年 3 月 31 日	引渡しの対象 令和 10 年 3 月 1 日～ 令和 11 年 2 月 28 日
気象予測（雪氷期）	5 ヶ月		
事前予測情報提供	1 回		
土壌雨量指数予測	12 ヶ月		
気象情報提供	12 ヶ月		
NEXCO 東日本ホームページ気象情報提供	6 ヶ月		
防災情報メール配信	12 ヶ月		
30 分雨量データ提供	12 ヶ月		
報告書作成 B	1 式		
気象予測（暖候期）	7 ヶ月	令和 12 年 3 月 31 日	引渡しの対象 令和 11 年 3 月 1 日～ 令和 12 年 2 月 28 日
気象予測（雪氷期）	5 ヶ月		
事前予測情報提供	1 回		
土壌雨量指数予測	12 ヶ月		
気象情報提供	12 ヶ月		
NEXCO 東日本ホームページ気象情報提供	6 ヶ月		
防災情報メール配信	12 ヶ月		
30 分雨量データ提供	12 ヶ月		
報告書作成 C	1 式		

1-10 成果品

本業務における成果品については、共通仕様書 1-45「成果品」によらず、以下のとおりとする。

項目	部数	備考
報告書（紙）	4 部	部分引渡し及び完了時に 1 部ずつ
報告書（電子データ）	4 部	部分引渡し及び完了時に 1 部ずつ

※１：報告書（紙）とは、白焼製本・A４版で作成したものとする。

※２：２－１２－１報告書作成に示す１）～６）の取りまとめ項目のうち、３）対象期間中のNEXCO観測・地点別データの月・日集計、５分毎データの取りまとめについては、紙によらず、電子データ（CD等）とし、報告書末巻等に付属するものとする。

※３：報告書（電子データ）とは、白焼製本・A４版で作成した紙の部分について電子データ化を行うものとし、調査等業務の電子納品要領によらず電子化を行うものとする。

１－１１ 履行期間

本業務は、共通仕様書１－１３－１「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から１０日以内に、履行期間通知書（参考資料１）より、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から令和１２年５月３１日まで

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から令和９年３月３１日まで

１－１２ テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書１－１２－４「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

（１）受注時は、受注者が設定した業務の始期から１５日以内

第２章 業務細部に関する事項

２－１ 業務内容

受注者が入札前に技術提案書により提案した業務（発注者が採用を認めないことを通知した提案を除く。）に関して、発注者は別途、本特記仕様書への追加又は変更を行うものとする。

２－２ 気象予測

新潟支社管内の高速道路の維持管理において、異常気象対策及び雪氷対策をより円滑かつ効果的に実施するために、受注者は管理技術者又は担当技術者を常駐させ、気象庁発表の気象資料、当社の行う気象観測データ及び受注者独自の気象観測データを用い、受注者独自の気象予測を行い、当社が管理する各路線の予測区間毎の気象予測情報を当社の支社・事務所に情報提供を行うものである。

本業務にあたって下記について取組むものとする。

・受注者のシステム、ノウハウ等を最大限駆使して、突発的・局地的な豪雨、豪雪等に関する予測精度の向上に取組むこと

２－２－１ 気象情報提供期間

令和９年５月１日から令和１２年４月３０日まで

そのうち、 暖候期間：毎年 ４月１６日から１１月９日とする

雪氷期間：毎年１１月１０日から翌年４月１５日とする

2-2-2 業務内容

(1) 予測区間

予測区間は、次の区間とする。

予測区間番号	区	間	(道路名)
1	沼田 IC	～ 月夜野 IC	(関越道)
2	月夜野 IC	～ 水上 IC	(同 上)
3	水上 IC	～ 谷川岳 PA	(同 上)
4	土樽 PA	～ 湯沢 IC	(同 上)
5	湯沢 IC	～ 塩沢石打 IC	(同 上)
6	塩沢石打 IC	～ 六日町 IC	(同 上)
7	六日町 IC	～ 魚沼 IC	(同 上)
8	魚沼 IC	～ 越後川口 IC	(同 上)
9	越後川口 IC	～ 小千谷 IC	(同 上)
10	小千谷 IC	～ 長岡 JCT	(同 上)
11	黒部 IC	～ 朝日 IC	(北陸道)
12	朝日 IC	～ 糸魚川 IC	(同 上)
13	糸魚川 IC	～ 名立谷浜 IC	(同 上)
14	名立谷浜 IC	～ 柿崎 IC	(同 上)
15	柿崎 IC	～ 米山 IC	(同 上)
16	米山 IC	～ 西山 IC	(同 上)
17	西山 IC	～ 長岡 JCT	(同 上)
18	長岡 JCT	～ 中之島見附 IC	(同 上)
19	中之島見附 IC	～ 三条燕 IC	(同 上)
20	三条燕 IC	～ 巻潟東 IC	(同 上)
21	巻潟東 IC	～ 新潟空港 IC	(北陸道、日東道)
22	新潟空港 IC	～ 中条 IC	(日東道)
23	中条 IC	～ 荒川胎内 IC	(同 上)
24	西会津 IC	～ 津川 IC	(磐越道)
25	津川 IC	～ 安田 IC	(同 上)
26	安田 IC	～ 新潟中央 IC	(同 上)
27	豊田飯山 IC	～ 信濃町 IC	(上信越道)
28	信濃町 IC	～ 中郷 IC	(同 上)
29	中郷 IC	～ 新井 PA	(同 上)
30	新井 PA	～ 上越 JCT	(同 上)

(2) 定時予測

定時予測とは、予測区間毎に短期気象予測を行い、当社へ情報配信するものである。

①予測内容

天気、降水量、降雪量、風向風速、気温、路温及び気象概況

※みぞれ又は雪が予測された場合は黄色着色にて強調する。

気温 1℃以下及び路温 0℃以下は水色着色して強調する。

②予測期間

予報を行う時点から 72 時間後までの期間とする。

③情報提供時刻

種 別	時刻	期 間	摘要
早 朝	5:00	毎年 4 月 16 日～翌年 4 月 15 日	
午 前	10:00	毎年 11 月 10 日～翌年 4 月 15 日	
午 後	16:00	毎年 4 月 16 日～翌年 4 月 15 日	
夜 間	21:00	毎年 11 月 10 日～翌年 4 月 15 日	

④メールでの情報提供

定時予測時に基準値超過予測が出た場合は、支社関係者にメールにて通知するものとする。
 情報提供台数は、約 150 台である。

(3) 臨時予測

臨時予測とは定時予測以外に下記の状況となった場合に、適時、予測及び情報を発信する。

- ① 大雨、暴風、暴風雪、大雪等の特別警報発表後
- ② 定時予測の発表後に気象の急変が予想される場合
- ③ 「表 1 防災体制発令基準」に達する降雨が予想された場合
- ④ 高速道路で通行止等の規制を行う場合
- ⑤ 当社から要請があった場合

予測内容は本章 2-2-2 (2) 定時予測と同様の提供内容とするが、必要に応じて適切な説明資料で情報提供するものとする。

(4) 短時間降雨降雪予測

短時間降雨降雪予測とは、短時間予測により降雨又は降雪量をメッシュ表示により降雨又は降雪の範囲を表示し、時間別に動画機能により降雨又は降雪の範囲の予測を表示させるものである。
 更新時間は 1 時間更新とする。

また、雨雪判別を行うものとする。

(5) 週間予測

週間予測とは、予測区間毎に中期気象予測を行うものであり、当社へ情報配信するものである。

①予測内容

天気、降水量、降雪量、最大風速、最高気温、最低気温及び気象概況
 ※みぞれ又は雪が予測された場合は黄色着色にて強調する。

②予測期間

予報を行う時点から 7 日間

③予測単位

半日

④情報提供日及び時刻

種 別	情報提供日	提供時刻
暖候期間	毎日	12:00
雪氷期間	毎日	12:00

表 1 防災体制発令基準

区間 番号	区 間 (道路名)	連続雨量 (mm) ※ 1
1	沼田 IC ～ 水上 IC (関越道)	80
2	水上 IC ～ 湯沢 IC (同 上)	55 ※ 2
		80 ※ 3
3	湯沢 IC ～ 塩沢石打 IC (同 上)	115
4	塩沢石打 IC ～ 六日町 IC (同 上)	90
5	六日町 IC ～ 魚沼 IC (同 上)	110
6	魚沼 IC ～ 堀之内 IC (同 上)	120
7	堀之内 IC ～ 越後川口 IC (同 上)	120
8	越後川口 IC ～ 小千谷 IC (同 上)	110
9	小千谷 IC ～ 長岡 IC (同 上)	105
10	長岡 IC ～ 長岡 JCT (同 上)	105
11	朝日 IC ～ 親不知 IC (北陸道)	170
12	親不知 IC ～ 糸魚川 IC (同 上)	160
13	糸魚川 IC ～ 能生 IC (同 上)	105
14	能生 IC ～ 名立谷浜 IC (同 上)	150
15	名立谷浜 IC ～ 上越 JCT (同 上)	175
16	上越 JCT ～ 上越 IC (同 上)	135
17	上越 IC ～ 柿崎 IC (同 上)	115
18	柿崎 IC ～ 米山 IC (同 上)	115
19	米山 IC ～ 柏崎 IC (同 上)	145
20	柏崎 IC ～ 西山 IC (同 上)	115
21	西山 IC ～ 長岡 JCT (同 上)	135
22	長岡 JCT ～ 中之島見附 IC (同 上)	115
23	中之島見附 IC ～ 三条燕 IC (同 上)	135
24	三条燕 IC ～ 巻潟東 IC (同 上)	90
25	巻潟東 IC ～ 新潟西 IC (同 上)	90
26	新潟西 IC ～ 新潟中央 JCT (同 上)	95
27	新潟中央 JCT ～ 新潟亀田 IC (日東道)	80
28	新潟亀田 IC ～ 新潟空港 IC (同 上)	80
29	新潟空港 IC ～ 豊栄新潟東港 IC (同 上)	105
30	豊栄新潟東港 IC ～ 聖籠新発田 IC (同 上)	105
31	聖籠新発田 IC ～ 中条 IC (同 上)	110
32	中条 IC ～ 荒川胎内 IC (同 上)	110
33	新潟中央 IC ～ 新潟中央 JCT (磐越道)	95
34	新潟中央 JCT ～ 新津 IC (同 上)	100
35	新津 IC ～ 安田 IC (同 上)	105
36	安田 IC ～ 三川 IC (同 上)	105
37	三川 IC ～ 津川 IC (同 上)	120
38	信濃町 IC ～ 妙高高原 IC (上信越道)	95
39	妙高高原 IC ～ 中郷 IC (同 上)	135
40	中郷 IC ～ 上越高田 IC (同 上)	150
41	上越高田 IC ～ 上越 JCT (同 上)	125

- ※1 連続雨量とは、雨の降り始めから降り終わるまでの累計降雨量をいい、降り終わりとは無降雨（2mm/時間以下）が6時間以上継続した場合をいう。
- ※2 水上～関越トンネル南坑口の観測所データにおける基準値（観測所：水上IC、阿能川橋）
- ※3 関越トンネル北坑口～湯沢の観測所データにおける基準値（観測所：土樽橋、湯沢IC）

2-2-3 評価・検討

受注者は、自らが行った気象予測と実際の気象状況を比較し、気象予測と実際の気象状況に乖離が発生した場合において原因究明並びに予測モデルへの反映を行うとともに、予測精度を向上させるための対応策を検討のうえ監督員に報告する。

また、評価・検討にかかる費用は、報告書作成に伴うデータ整理の費用も含むものとする。

2-3 事前予測情報提供

年末年始の気象情報把握及び体制構築を目的に、年末から年始の予測情報提供を行うもので、予測区間については2-2-2（1）予測区間とする。

事前予測情報提供の数量の検測は、回として下記の提供期間ごとに検測する。

なお、2-2-2（5）週間予測にて予測した結果を活用できるものとする。

①予測内容

天気、降雪量、降水量、最高気温、最低気温、最大風速及び気象概況

※参考資料2のとおり

②予測期間

毎年12月29日～1月7日を対象とし、予測単位は半日とする。

③提供期間

提供期間は下記のとおりとし、各日ともに13：00に提供するものとする。

令和9年12月23日～令和9年12月28日まで

令和10年12月23日～令和10年12月28日まで

令和11年12月23日～令和11年12月28日まで

2-4 土壌雨量指数予測

土壌雨量指数予測とは、監督員から提供する土壌雨量指数データに加え本業務で実施する気象予測等を踏まえ、次のとおり情報提供を行うものである。

①提供内容

- (1) 気象観測局ごとの、1時間単位の時間雨量・土壌雨量指数の予測値・実況値、基準値判定結果（基準値超過時の着色）。なお、予測値・実況値ともにPDF出力・CSV出力できるものとする。
- (2) 観測局毎に、過去12時間～72時間先までの土壌雨量指数と時間雨量の実況値・予測値をプロットした曲線グラフ（以下、スネーク曲線）と基準値線を併せて表示する。
- (3) 観測局ごとに、過去12時間～72時間先までの時間雨量・連続雨量・土壌雨量指数の実況値・予測値を時間軸でまとめたグラフ（以下、ハイトグラフ）と基準値線を併せて表示する。
- (4) 土壌雨量指数予測を提供した時点から24時間以内に土壌雨量指数が土壌雨量指数に関する基準値を超過する場合は、雨量観測所名、事務所名、区間名をメールにより通知する。

②予測期間

提供時間から72時間先まで。

③予測地点及び基準値

予測地点は、土壌雨量指数の基準値が設定された全気象観測局を対象とする。

土壌雨量指数に関する基準値データは別途監督員より電子データを送付するものとする。

④情報提供期間

提供期間は令和9年5月1日から令和12年4月30日とする。

⑤情報提供時刻

情報提供時刻は以下の表に定める時刻及び臨時予測提供時とする。

種別	時刻	期 間	摘要
早朝	5:00	毎年 4 月 16 日～翌年 4 月 15 日	
午前	10:00	毎年 11 月 10 日～翌年 4 月 15 日	
午後	16:00	毎年 4 月 16 日～翌年 4 月 15 日	
夜間	21:00	毎年 11 月 10 日～翌年 4 月 15 日	

2-5 気象情報提供

(1) オンライン気象情報提供

オンライン気象情報提供とは2-2気象予測の情報、気象庁発表の気象情報、当社気象観測データ及び受注者独自のコンテンツを、適時提供するものである。提供情報は下記の項目を基本とする。なお、提供する情報は使用者が分かりやすく・見やすいものとなるように表示内容を工夫するものとする。

メニュー名	内 容	発表時刻・頻度
①気象予測情報		
定時予測	各予測区間の概況、降雨又は雪氷予測	2-2-2(2)による
臨時予測	各予測区間の概況、降雨又は雪氷予測	2-2-2(3)による
短時間降雨降雪予測	実況及び時間ごと予測を動画機能により表示	2-2-2(4)による
週間予測	向こう1週間の予報	2-2-2(5)による
土壌雨量指数予測	各予測区間の概況、土壌雨量指数予測	2-4による
台風情報	実況・予想等の情報	随時
気象合成レーダー	地域毎合成レーダーのエコー強度	観測時随時配信
短時間降水予測	毎正時実況、1～3時間先予想	毎時20分後
気象衛星画像	毎正時の赤外画像	毎正時
②当社観測データ情報他		
地点別状況図・日表	各管理事務所における気象観測データ（新情報交換モニタwebサーバデータ）の実況値の表示	随時
注意報警報（事務所）	管理事務所毎に注意報警報を二次予報区域別に分類し提供する。発表時間の表示、履歴も合せて表示する。	随時

(2) 当社の観測資料収集

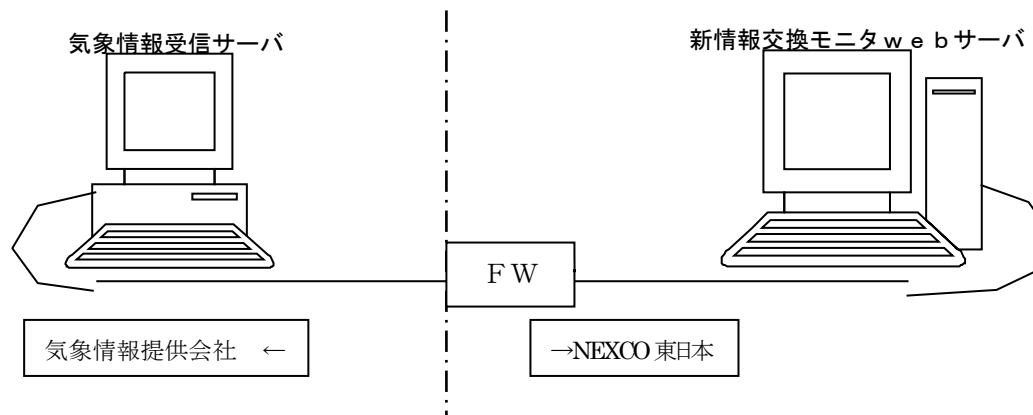
当社の新情報交換モニタwebサーバからオンラインシステムを介して、ICおよび高速道路本線上に設置している気象観測器具で観測した5分毎の全観測データを逐次収集する。なお、これに伴う費用は契約単価に含まれるものとし別途支払いは行わない。

・接続仕様

当社の新情報交換モニタwebサーバからオンラインシステムを介して、ICおよび高速道路本線上に設置している気象観測器具で観測した5分毎の全観測データの提供方法は下記のとおりとする。

- ①接続方式 : L A N接続 (FTP-get 通信)
- ②伝送回線 : Ethernet
- ③伝送速度 : 10M/100Mbps
- ④伝送プロトコル : F T P

・ 接続例



- ・ 詳細は、「通信インタフェース仕様書」によるものとする。
- ・ 上記以外の接続方法へ変更する場合は、監督員と協議を行い決めるものとし、それに伴う費用については、発注者受注者で協議して決めるものとする。
- ・ 「通信インタフェース仕様書」については、監督員より別途配布する。

(3) オンライン気象情報提供端末

受注者は当社が気象情報を確認し、必要に応じて Web 会議が実施できるよう下記のとおりオンライン端末を設置する。またオンライン端末から発信されるアラーム音等を、端末から離れた場所で認知するための表示灯を設置する。設置箇所及びアラーム設定等については契約締結後、打合せにて決定するものとする。

設置内容	設置場所	所在地	備考
PC モニター 表示灯 モニター用ラック マイクスピーカー	新潟支社道路管制センター 交通管制室	新潟県新潟市江南区亀田早通 3233	

(4) 障害時対応

障害が発生した場合は、受注者は当社と連絡を密にして、速やかに復旧できるよう努める。また、受注者は当社に提供する気象予測情報の提供方法を速やかに監督員へ報告する。

2-5-1 Web 会議又はテレビ会議による情報提供

Web 会議又はテレビ会議による情報提供とは、適時、予測及び気象の解説を解説資料を用いて、Web 会議又はテレビ会議で実施するものである。

会議システムについては Microsoft Teams の使用を原則とするが、障害時など使用出来ない場合については発注者と受注者協議の上代替措置を講じるものとする。

(1) 情報提供回数

年 120 日程度

なお詳細な実施日は監督員と調整するものとする。

2-5-2 関係者向けWebによる気象情報提供

受注者はオンライン端末にて提供する気象情報のうち、下記項目についてインターネット回線を經由し、PC・スマートフォン・タブレット（iPad・Android等）で閲覧可能なシステムを構築し運用することとする。また、ブラウザについてはMicrosoft Edgeにて閲覧を原則とする。

なお、提供する情報は使用者が分かりやすく・見やすいものとなるように表示内容を工夫するものとする。

（1）情報内容

メニュー名	内容	発表時刻・頻度
気象予測	定時予測及び臨時予測の内容を表示	2-2-2（2）、（3）、（4）による
地点別状況図	各管理事務所における当社気象観測データの表示	随時
注意報・警報・特別警報	事務所毎の注意報・警報・特別警報の表示	随時
週間予測	向こう1週間の予報	2-2-2（5）による

なお、気象概況をメール配信できるようなシステムとする。

（2）情報提供期間

令和9年5月1日～令和12年4月30日

（3）情報提供対象者

当社関係者（支社・事務所社員または関連会社社員）

2-5-3 気象説明会

気象説明会とは、暖候期間及び雪氷期間にあたり、気象に関する説明、システム操作に関する説明を実施するものである。

（1）実施時期、内容

説明会の実施時期、内容は下記のとおりとする。なお詳細な実施日は監督員と調整するものとする。

実施時期	実施内容	実施場所
令和9年 4月～5月 令和10年 4月～5月 令和11年 4月～5月	暖候期に関する説明会 ・気象特性、システム操作説明等	新潟支社 湯沢管理事務所 新潟管理事務所 長岡管理事務所 上越管理事務所 新潟工事事務所
令和9年10月～11月 令和10年10月～11月 令和11年10月～11月	雪氷期に関する説明会 ・気象特性、システム操作説明等	

2-6 NEXCO東日本ホームページ気象情報提供

受注者は、NEXCO東日本ホームページの専用サイト上から、一般者向けの冬期気象情報を提供するシステムの整備及び情報配信などの運用を行う。なお、NEXCO東日本ホームページへの気象情報提供において、インターネット接続に係る機器、データ蓄積のための機器および周辺装置、保守経費を含むものとする。

（1）情報内容

- ・区間別短期予測（天気、降雪量、降雨量、気温）、気象概況のテロップ（80字以内）
- ・提供時刻は、本章2-2-2（2）③の情報提供時刻に準じる。ただし、2-2-2（3）臨時予測を行う場合は、随時提供するものとする。

- ・ 気象観測局の気象実況（気温、路温、風向、風速）
- ・ 提供時刻は5分間隔とする。

（２）情報提供期間

情報提供期間は、下記の期間とする。

令和9年11月1日から令和10年4月30日
 令和10年11月1日から令和11年4月30日
 令和11年11月1日から令和12年4月30日

（３）情報伝達経路に関する注意事項

当社ホームページ用に作成された気象情報データは、発注者の指定したデータ蓄積器に配信し、当社ホームページからのリンクにより閲覧可能な状態にする。このとき、発注者の指定したデータ蓄積器は、第三者の保有するデータ蓄積器となる場合がある。この場合、受注者は発注者の指示に従ってデータ定義等のすりあわせを行い、本業務を円滑に遂行するよう努めることとする。

（４）表示画面

全体画面及びポップアップ画面は、本業務において新たに創作はしないものとし、以下の内容を表示すること。

- ・ 天気、路面状態、降雪量（cm/h）、気温（℃）、風向・風速（m/s）

2-7 防災情報メール配信

受注者は、気象に関する特別警報、警報、地震、津波等の情報が気象庁から発表された場合、監督員の指定する当社関係者（支社・事務所社員または関連会社社員）にメールによる情報提供を行うものとする。なお、メールの情報内容は次のとおりとする。

- ・ 気象特別警報（レベル5大雨特別警報、レベル5土砂災害特別警報、暴風、暴風雪、大雪、波浪）
- ・ 気象警報（レベル4大雨危険警報、レベル4土砂災害危険警報、レベル3大雨警報、レベル3土砂災害警報、暴風、暴風雪、大雪、波浪）
- ・ 地震津波情報（震度4以上の地震情報、津波情報）
- ・ 火山情報（新潟焼山、妙高山における噴火情報・予報。新潟焼山は噴火警戒レベルも提供）
- ・ 気象防災速報（記録的短時間大雨）
- ・ 気象防災速報（線状降水帯発生）
- ・ 気象防災速報（線状降水帯直前予測）

（１）情報提供方法

受注者は、気象庁等より入手した気象特別警報、気象警報、地震津波情報を受注者が保有するデータ処理装置を介し、当社関係者にメール通知するものとする。なお、これに係るデータ処理装置及びインターネット接続機器の設備や保守を含むものとする。

（２）情報提供期間

情報提供期間は令和9年5月1日～令和12年4月30日とする。

（３）情報提供台数

約150台

2-8 30分雨量データ提供

30分雨量データ提供とは、当社の新情報交換モニタwebサーバからオンラインシステムを介して、ICおよび高速道路本線上に設置している気象観測器具で観測した5分毎の全観測データを逐次収集し、各区間の基準値を超過時にメール通知するものとする。なお、基準値は新潟支社防災業務要領別表12降雨時の通行規制基準に対応する気象観測局と適用IC区間（契約締結後別途通知）に基づき同値又は基準値を超過した場合は「基準値超過」と定義するものとし、メール配信は下記の条件を満たす場合に行うものとする。

- ・ 速度規制基準値超過（連続雨量又は時間雨量）時

- ・組み合わせ雨量の通行止め基準値超過時
- ・連続雨量の通行止め基準値超過時

(1) メールの情報提供方法

受注者は、受注者が保有するデータ処理装置を介し、当社関係者の携帯電話にメール通知するものとする。なお、これに係るデータ処理装置及びインターネット接続機器の設備や保守を含むものとする。

(2) 情報提供期間

情報提供期間は令和9年5月1日～令和12年4月30日とする。

(3) 情報提供台数

約150台

2-9 その他の事項

2-9-1 土壌雨量指数予測の提供期間について

2-4 提供期間を記載しているが、別途監督員より提供期間の変更を指示する場合がある。

2-9-2 異常気象に伴う資料作成について

異常気象時（予測される場合も含む）における広報等に必要な気象情報に関する資料作成を指示する場合がある。

2-10 打合せ

本業務における打合せの回数は当初1回、年各4回、最終1回の計14回とする。

履行状況により打合せ回数が増減しても、打合せ費用の変更は行わないものとする。

なお、気象説明会は打合せ回数に含めない。

2-11 報告書作成

2-11-1 報告書作成

報告書作成とは対象となる期間における業務結果を次の項目内容ごとに取りまとめ、報告書を作成するものをいう。

- 1) 対象期間中の気象予測回数と気象経過
- 2) 道路気象予測及び結果の取りまとめ（予測精度等）
- 3) 対象期間中のNEXCO観測・地点別データの月・日集計、5分毎データの取りまとめ
- 4) 対象期間中の降雨・降雪など気象要因における通行止発生時の気象状況と、受注者が行ったアフターフォローの事例解析
- 5) 技術提案内容に関する進捗と効果検証
- 6) 業務サービスに関する要望・充実化について

なお、対象期間中監督員が上記内容に関して報告を指示した場合、受注者はその内容について取りまとめ、監督員に提出するものとする。

また、報告書作成に伴うデータ整理の費用は、2-2-3評価・検討に含むものとする。

2-11-2 対象期間

前項に規定する報告書作成の対象期間は、次表のとおりとする。

項 目	対象期間	備 考
報告書作成A	令和9年5月1日～令和10年2月29日	一部完了時
報告書作成B	令和10年3月1日～令和11年2月28日	
報告書作成C	令和11年3月1日～令和12年2月28日	

	日	
報告書作成D	令和12年3月1日～令和12年4月30日	完了時

なお、報告書作成Dについては、履行期間における総括を含むものとする。

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

(調査等名)

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

(3-2. 受注者が設定した業務の終期)

以 上

新潟支社 道路気象予測 事前予測情報提供(年末年始予測)

【気象概況文】

晴れ:○ 曇り:◎ 雨:● 雪:*
 のち:→ 一時:/ 時々:// 雨か雪:●* 雪か雨:*●
 ※黄着色…みぞれ又は雪含む時間帯

予測発表日の翌日から10日分

[illegible]